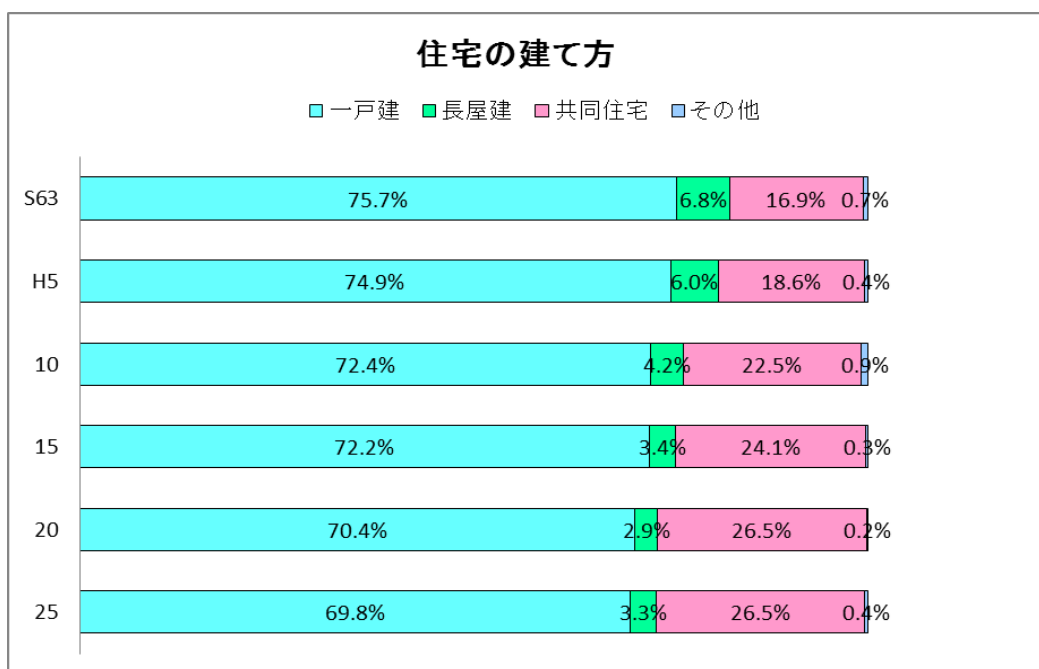


2 住宅の建て方

一戸建と長屋建は、割合としては減少傾向（一戸建 S63：75.7% → H25：69.8%、長屋建 S63：6.8% → H25：3.3%）にありますが、反対に共同住宅は増加（S63：16.9% → H25：26.5%）しています。

(戸)

年次	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
S63	490,200	371,000	33,100	82,800	3,300
H5	518,500	388,500	31,300	96,500	2,200
10	542,300	392,400	22,900	122,000	5,000
15	557,100	402,500	18,700	134,200	1,600
20	574,000	403,900	16,600	152,100	1,300
25	578,900	403,900	19,100	153,500	2,400



住宅の建て方を市町別に見てみると、松山市以外の市町では、一戸建の割合がいずれも70%を超えています。松山市では53.7%にとどまっています。そのかわり共同住宅が全体の43.8%を占め、県下でも突出した割合となっています。

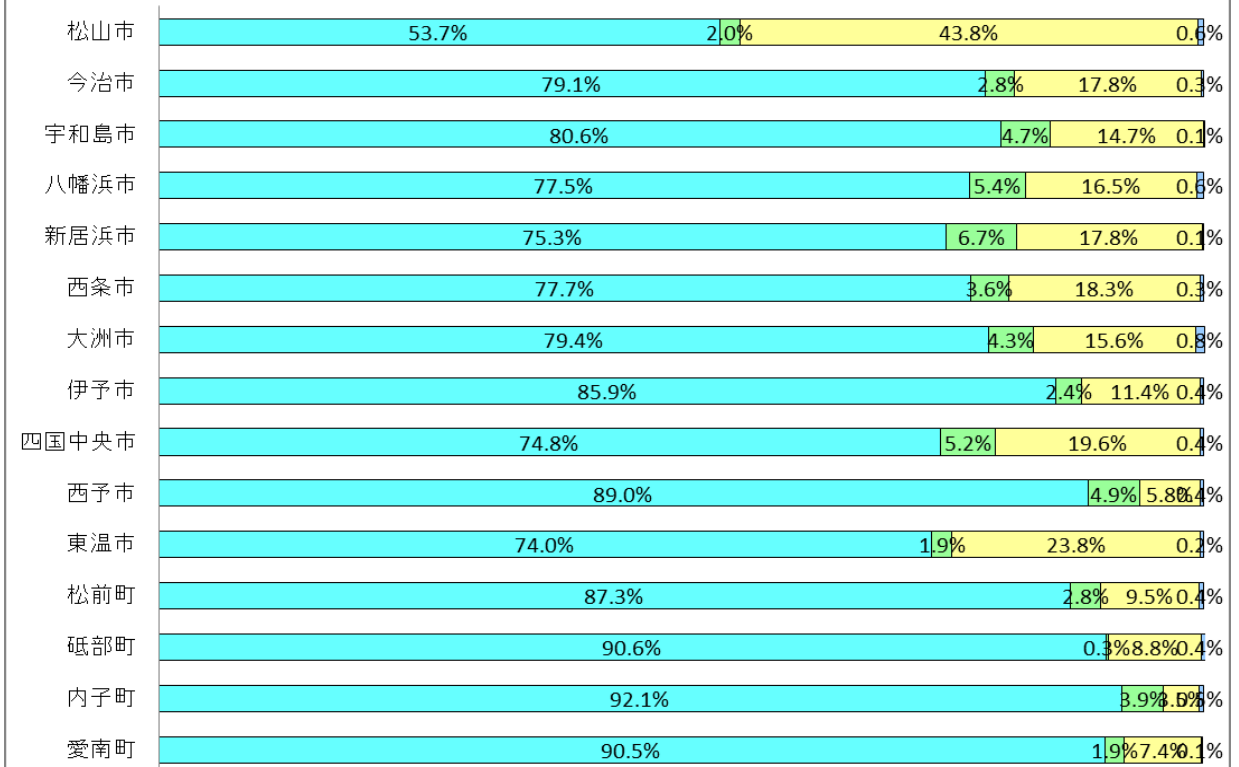
(戸)

市町名	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
松山市	225,240	120,900	4,480	98,570	1,300
今治市	66,050	52,240	1,860	11,750	200
宇和島市	31,930	25,720	1,510	4,680	20
八幡浜市	15,500	12,020	830	2,550	90
新居浜市	48,960	36,890	3,280	8,720	70
西条市	43,290	33,640	1,560	7,940	140
大洲市	17,580	13,960	750	2,740	140
伊予市	13,810	11,860	330	1,570	50
四国中央市	33,690	25,210	1,740	6,620	120
西予市	16,220	14,430	790	940	60
東温市	13,100	9,690	250	3,120	30
松前町	11,380	9,930	320	1,080	50
砥部町	7,800	7,070	20	690	30
内子町	6,600	6,080	260	230	30
愛南町	9,150	8,280	170	680	10

人口1.5万未満の町(上島町、久万高原町、伊方町、松野町、鬼北町)は結果が表章されていない。

住宅の建て方(市町別)

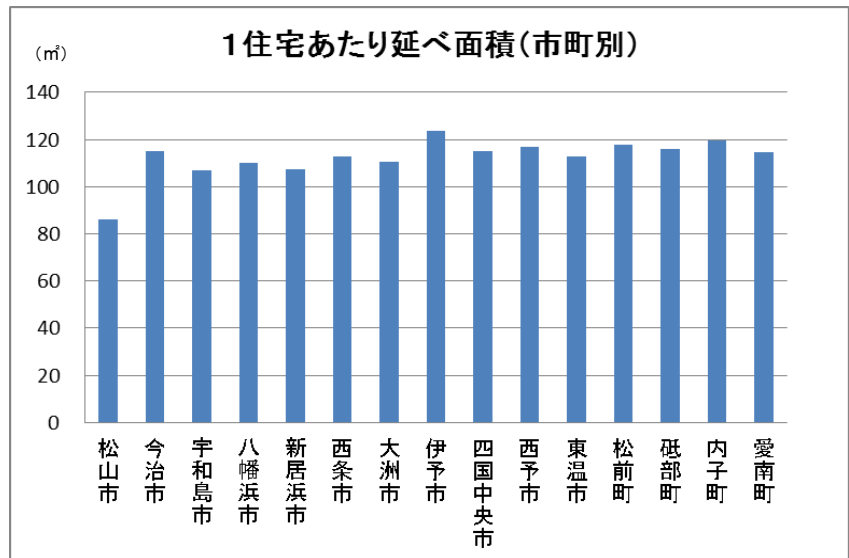
■ 一戸建 ■ 長屋建 ■ 共同住宅 ■ その他



なお、1住宅あたりの延べ面積を市町別にみても、伊予市が最も広く(123.48㎡)、松山市が最も狭く(86.09㎡)となっています。

(㎡)

市町名	面積
松山市	86.09
今治市	115.05
宇和島市	106.84
八幡浜市	109.95
新居浜市	107.13
西条市	112.57
大洲市	110.74
伊予市	123.48
四国中央市	114.90
西予市	116.94
東温市	112.72
松前町	117.62
砥部町	115.99
内子町	119.74
愛南町	114.69

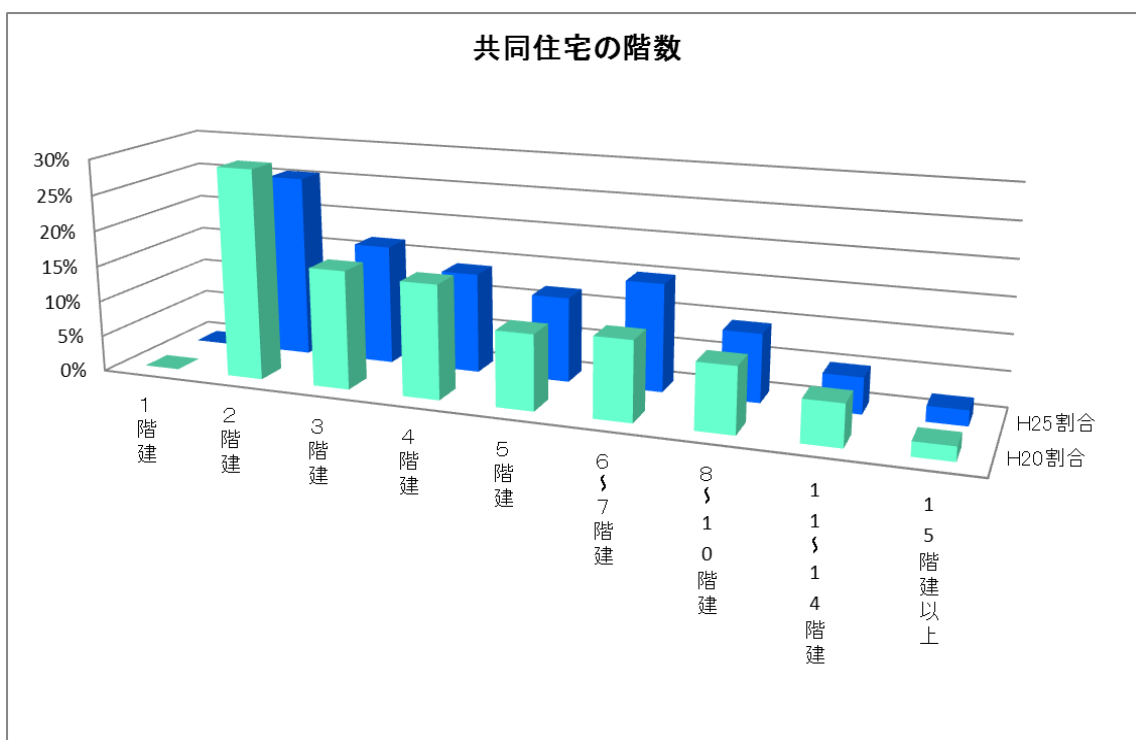


※人口1.5万未満の町(上島町、久万高原町、伊方町、松野町、鬼北町)は結果が表章されていない。

共同住宅について、建物全体の階数別にみると、前回結果と比較して6～7階建ての建物が4.0%増と、最も伸びているのがわかります。

(戸)

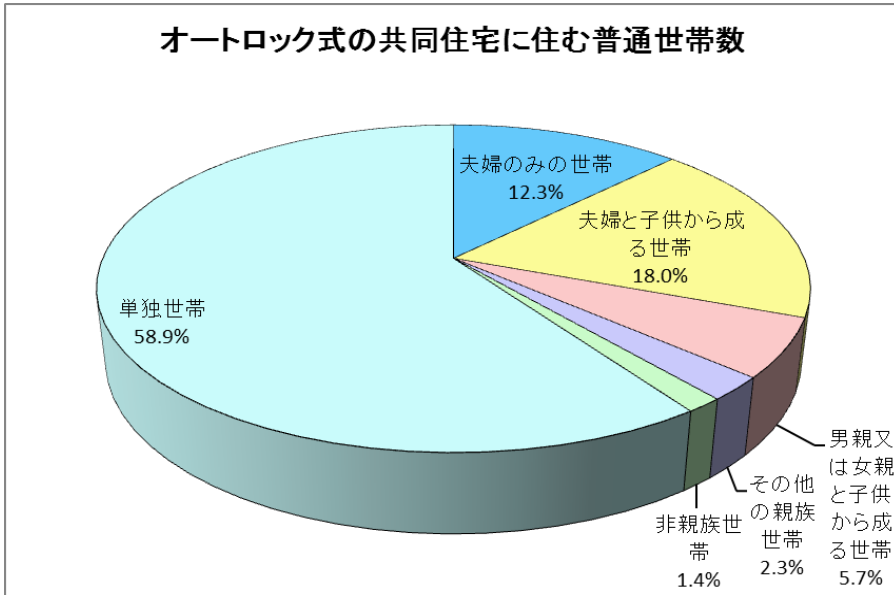
階数	H20		H25	
	実数	割合	実数	割合
総数	152,100	100.0%	153,500	100.0%
1階建	0	0.0%	0	0.0%
2階建	44,700	29.4%	39,400	25.7%
3階建	25,100	16.5%	25,800	16.8%
4階建	24,100	15.8%	21,500	14.0%
5階建	15,900	10.5%	18,200	11.9%
6～7階建	16,800	11.0%	23,100	15.0%
8～10階建	13,800	9.1%	14,600	9.5%
11～14階建	8,800	5.8%	7,700	5.0%
15階建以上	3,000	2%	3,300	2%



また、オートロック式の共同住宅に住む世帯を、世帯の種類別にみると、「単独世帯」が58.9%と突出して多く、次いで「夫婦と子供から成る世帯」18.0%、「夫婦のみの世帯」12.3%となっています。

(戸)

世帯の種類	世帯数	持ち家	借家
総数	35,000	11,800	22,500
夫婦のみの世帯	4,300	2,600	1,600
夫婦と子供から成る世帯	6,300	3,700	2,500
男親又は女親と子供から成る世帯	2,000	1,400	700
その他の親族世帯	800	500	300
非親族世帯	500	200	300
単独世帯	20,600	3,400	17,000



昭和48年には全体の8割を超えていた木造が、平成25年にはほぼ半減し、近年は、防火木造と鉄筋・鉄骨コンクリート造りが、それぞれ増加しています。

(戸)

構造	昭和48年	昭和53年	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年
総数	399,000	434,900	458,800	490,300	518,500	542,400	557,100	574,000	578,900
木造	337,700	344,000	326,700	322,900	315,200	317,200	292,200	261,700	258,200
防火木造	26,300	35,600	47,900	55,100	77,900	71,500	98,800	130,500	132,300
鉄筋・鉄骨コンクリート造	22,800	41,300	72,300	102,100	111,300	139,700	139,500	138,800	156,100
鉄骨造	900	2,600	3,600	4,700	8,000	8,700	24,700	40,700	28,800
ブロック造/その他	11,300	11,400	8,300	5,500	6,100	5,300	1,900	2,300	3,500

